

(規則) 様式第7 (第7条関係)

# 政務活動費成果報告書

令和5年10月20日

犬山市議会

議長

柴田浩行様

議員名

柴山一生

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年月日	令和5年10月17日(火) ~ 令和5年10月18日(水) (泊2日)
(2) 場所	福井県
(3) 形態	会派(清風会) : その他(地方制度研究会)
(4) 内容	別紙参照
(5) 成果・提言	別紙参照



令和5年10月20日

犬山市議会議長  
柴田浩行様

美浜原発・レベル4自動運転・農協改革 視察報告書

犬山市議会議員 清風会 柴山一生

日時：令和5年10月17日～18日

場所：美浜原発、永平寺町、越前市

目的：稼働中の原発と廃炉作業中の原発の概要把握。レベル4自動運転の実際。農協の為の農協といわれる中で、会員の為の農協を目指している農協を知ること。

### ① 美浜原発

原発のPRセンターまでは、誰でも入ることはできるが、原発の中までは中々入る機会がなかったので、大変興味深く視察できた。

ポイントは大きく言って二つかと思われる。

一つ目は、セキュリティと作業員や視察者に対する安全管理の厳重さ。視察申し込みの段階で、既にID事前提出が求められ、PRセンターへ入る時に首掛けのカード、スマホの回収、金属類の取り外し、専用バスに乗って橋を渡って原発サイトに入ると、警備員による本人確認、飛行場の入管より厳しいゲートでさらに本人確認。廃炉建屋に入る前に、下着以外はすべて先方の帽子、つなぎ服、手袋、靴下、靴に履き替え、更に本人確認と金属検査し、廃炉建屋に入る。

二つ目は、原発は怖くもあり、怖くもない、ということ。事故が起これば途方もないがなければ大変安全有用。原発には大きく分けて二種類あり、美浜のような加圧式と福島のような沸騰式。大きな違いは燃料に直接接触した水が、タービンを回すかどうか。加圧式は、157気圧まで加圧し水温を320度にして、隔絶された水を沸騰させその蒸気でタービンを回し、沸騰式は、燃料に直接接触し沸騰した水蒸気でタービンを回す。素人目には美浜の方が安全性が高いように思えるが、その機関内の圧力の高さや製造そして維持コストを考えると両者メリットデメリットがあるのだろう。さらに、最近騒がれている、処理水中に含まれるトリチウムだが、分子式はHTOでH<sub>2</sub>Oとよく似ていて、Tは三重水素。原子核の中に、陽子が一個が水素で、陽子が一個で中性子が二個が三重水素。素人目にもそんなに害があるようには思えない代物です。

このほか、原発は悪者扱いされやすいですが、そのために不必要な安全対策も国から取らされているようです。例えば、竜巻対策。冷却水タンクに竜巻用防護ネットが設置されていましたが、福井では特に竜巻は多いわけではないが、全国で最も厳しい機銃が適

応されているということです。おそらく、当事者はほとんど無駄と想着いても、官僚から言われれば仕方なく従っているのではないのでしょうか。

#### 犬山への提言

エネルギー問題は直接的には市政に関わりませんが、国への意見書を提出してくれと言う請願などがあった場合にこれで、自分なりの意見をもって対応することができました。現在原発は総発電量の5分の1だそうです。まあ、これ以上増やすこともないと思いますが、全てなくすことはあってはならないと思います。なぜなら、日本は技術立国。しかも原爆を二発経験し、福島事故を経験しています。これらがあるのですから、しっかりと原発のより安全な運用と適正な廃炉技術の先端を日本が担うべきだろうと思います。祖茂ためにも、ただただ、原発反対の姿勢は間違っていると確信しました。

#### ② レベル4 自動運転

やっとな本格的に自動車やバスの自動運転が本格化してきたと感じるが、とにかく、日本は、こういったことを進める事が遅すぎるとというのが今回の視察でも感じた最大の感想だ。

この永平寺町もレベル4の実験的運用は進めているが、これが公道でも走ることができるようなことになるのは、まだまだ先のような印象だった。

今回は100回以上の視察受け入れだったそうだが、初めて緊急停止をした自動車に私は最前列に乗っていた。隣の方かたは、頭を前方のカメラで打った。出欠はしなかったが痛かったろう。緊急停止の仕方は結構、急な止まり方だった。原因は、路面にできた、深さ1センチ程度で縦横40センチx15センチくらいの二つのくぼみ。これをカメラが感知して止まったようだ。時速19キロ未満で走るよう規制されているのでそれほどのショックではないが、シートベルトをしなくてもよいのでやはり前に体は行く。私は腹の前にハンドルがあったのでそこで止まった。こういった事象が、初めて今回起こったのも、やはり多くのケースでの実証実験の頻度が少なかったからではないだろうか。ゆっくりと安全で何事も起こらない環境を想定して毎週末だけ運航しているので、なかなか、スピード感をもって実装に近づけないのではないだろうか。

既に境町では自動運転バスを、補助員を一人つけて公道で運航している。目を外に向ければ、中田宏代表も言っていたが、5年目既にサンフランシスコでは、テスラを使ってタクシー営業していたという。中国でも既にタクシーの自動運転は始まっている。10年位前北京に行ったとき、タクシーがなかなかつかまらなくて、困ったし、中国のタクシー事情も垣間見た気がした。ウランバートルでも一般車が合法に白タクのような運行ができたし、マニラではワーパーが全盛だった。日本は、タクシー待ちで疲れるし、相乗りは禁止だと言われるし、まあ、一般庶民の都合はどこへやら。

### ③ 農協改革

J A だけふは、全農に所属せず。独立独歩で会員の為に最も良い施策を打ち出されているという印象だった。それは、鳥もなおさず、みなのためという誠意とやる気のあるリーダーがいたからこそできた話だろう。仕事など、自分や家族の食い扶持で効率よく適当に籍を置いておけばいいというトップでは絶対にできない話だ。

富田前理事長は、40年程農協に身を置き、現在の役員も何十年もここでただいるだけでなく、どうしたら、会員の皆さんが儲かるか安心して暮らせるかを念頭に色々アイデアを出し、実行してきたそう。

今では有名ブランドになっているこしひかりもこの福井で生まれ、越前の、越を取ってこしひかりと名付けられたそうです。

#### 犬山市への提言

市議会と農協との関係はほとんどなく、農業委員会の委員になる程度ですが、私は朝市に関わっているので、その方面から農協さんにもアプローチはしていきたいと思います。ただ、あちらはあちらのムラ社会があるので、わけのわからない部外者が入り込んで何の実質的な意味があるかわからないので、まずは犬山北 J A の現状そして犬山市とのかわりについてを議員として議会として正確に把握していきたいと思っています。